

## 市民協働事業 相互評価シート

### 1 市民協働事業の概要

事業名称	横浜市自治会町内会新しい活動スタイル応援事業		
事業の実施者	事業者	(法人名) ウーマンネット株式会社	
	行政	横浜市市民局地域活動推進課	
事業の目的	新型コロナウイルス感染症の影響が続く状況下においても、地域の絆をつなぎ、自治会町内会活動を継続・活性化していくため、ICTを活用した新しい活動スタイルを支援する。		
事業の内容	ICTを活用した会議、情報伝達等を体験する講座の実施、相談対応 等		
役割及び責任 分担等	必須項目	事業者の役割	横浜市の役割
	オンライン会議、LINEその他のツールを使った情報伝達・共有等の体験	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 講座の企画及び実施</li> <li>2 参加団体との連絡調整</li> <li>3 会場設営、運営サポート</li> <li>4 会議ソフトやLINE等の活用方法紹介</li> <li>5 上記に係る相談及び講座資料の配布</li> <li>6 参加者アンケートの実施、集計、実施報告書の作成</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 事業広報、事業者提案とりまとめ</li> <li>2 地区連合町内会との連絡調整</li> <li>3 参加団体募集、とりまとめ</li> <li>4 講座の企画・実施協力</li> <li>5 アンケート全体分析</li> </ol>
	ICT活用に関連した相談対応	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 相談会の企画及び実施</li> <li>2 電話・メール等による質問、相談対応</li> <li>3 相談対応記録の作成</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地区連合町内会との連絡調整</li> <li>2 相談会の企画・実施協力</li> <li>3 相談事例のまとめ、紹介</li> </ol>
	今後のICT活用に向けた提案	ICT活用に向けての課題整理、活用手法の提案	ICT活用に関する今後の支援策の検討
実施期間	令和2年10月12日～令和3年11月28日		

記入日	2021	年	12	月	31	日
・団体等名：	ウーマンネット株式会社					
・記入責任者氏名	代表取締役 丸山恵子					
連絡先：	045-642-7732					
・部署名：	市民局地域活動推進課					
・記入責任者氏名	木村 剛・荒木 愛里沙					
連絡先：	045-671-3624					

## 2 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2 事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないます。

### ◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

### ①事業計画段階

	事業者	横浜市
この事業の目的やミッションを互いに共有し、理解することができたか。	A	A

### ②事業実施段階

	事業者	横浜市
互いの役割を自覚し、強みを生かしながら、積極的に取り組むことができたか。	A	A
参加者のニーズや事業の進捗に応じて、臨機応変に対応しながら取り組むことができたか。	B	A

### ③ふりかえり段階

	事業者	横浜市
参加者が満足を得られたかどうかについて、互いに結果を共有し、確認できたか。	A	A
事業目的を達成するため、互いが役割を果たし、期待された事業成果を得られることができたか。	B	A

### 3 事業評価相互検証シート

「2 事業実施プロセス相互チェックシート」の結果をもとに相互に本シートを作成し、まとめます。

<b>事業の計画づくり</b> (事業の計画段階で、お互いの認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはありますか。)
<b>【共有できたことや認識に違いがあったこと】</b> 各担当自治会向けに、自治会との事前打ち合わせでのレベル感、ご要望などの把握を含めて、ICT 化支援の実施計画の内容や必要な IT サービスの活用についての共有はできたと思います。横浜市事務局の方にはお忙しい中ご親切にご調整いただき有難うございました。
<b>【今後改善が必要と思われること】</b> 今回はじめてのことだったと思いますが、次年度も実施されるのであれば、事業社向け全体説明会があってもよいかと思いました。報告書の提出方法などについても説明会があればいいなと思いました。コロナ禍において対面で難しければ Zoom を活用した説明会、コミュニケーションがあってもよかつたかなと感じました。
<b>事業実施</b> (協働して事業を実施した結果、お互いの認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
<b>【共有できたことや認識に違いがあったこと】</b> 計画内容、実施の様子、実施結果についてもメール、電話、アンケート等で随時共有できたと思います。アンケートは紙の提出でしたが、独自に Google Form を活用しアンケート収集、集計についても効率よく進められたと思います。
<b>【今後改善が必要と思われること】</b> 報告書に写真などの添付要請もあれば、より具体的に市の方がイメージしやすいのかなと思いました。
<b>事業の成果</b> (協働して事業を実施した結果、得られた成果はありますか。また、事業全体を通して、当初期待された事業効果は得られましたか)
<ul style="list-style-type: none"><li>・事前打ち合わせでレベル感の把握を事前にした上で各自治会向けの IT 化支援、ペーパーレスに向けた運用、地域情報、防犯、災害情報の情報発信の運用など、ホームページや SNS を活用することによって少しずつの実装ができています。苦手意識も多い方もいらっしゃいますが、対面の講習会を通して説明や実際に利用してもらうことによって少しずつ苦手意識を克服できていると思います。</li><li>・講習会では横浜市の公式 LINE、神奈川県コロナ関連 LINE 公式も併せてご紹介、ご希望の方には友達登録を実施してもらったので、必要な情報が必要な時にスマホで手元でも見られるようになっていると思います。</li><li>・今回初めての試みということですが、ICT 化支援は継続的にやっていく必要があると感じました。また町内会の活動を、IT を通して住民に可視化することで、若い層の自治会への加入促進や地域づくりの促進に繋がられると感じました。</li></ul>

- ・蔓延防止措置で事前打ち合わせ継続中であつた講座等が延期、中止に追い込まれたものもあつたので、来期も引き続き支援継続をしていきたいと感じました。
- ・交流会で他の地区の担当者、多数の市役所関係の方がいらっしゃる情報を事前に知ることがあれば、できれば参加したかったです。もう少し詳しい報告を発表したかったです。

#### 自由記入欄

横浜市：前例のない事業ということで、事業を進めながらスキームも微修正するという中で、協働事業者の皆様には多大なご負担をおかけしました。事業者の皆様からいただいた意見も踏まえ、今後の地域支援につなげていきたいと考えています。